

総合的な学習の時間の第 1 の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の教育目標

- ①グローバルな視点を持ち、国内外の各分野のリーダーとして未来を牽引できる人財の育成
②地域社会の発展に核となって貢献できる人財の育成
③高い知性、たくましい気力、礼節を重んじる人間性を備え社会に貢献できる人財の育成

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- 探究活動をととして、地域社会に貢献する人財を育成する。
(1) 地域探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
(2) 地域社会の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に地域社会に参画しようとする態度を養う。

総合的な学習の時間の学習評価

- 記述による評価を行い、生徒が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにする。
・発表やプレゼンテーションなどの表現による評価
・話し合い、学習や活動の状況などの観察による評価
・学習活動の過程や成果などの記録を集積したポートフォリオを活用した評価
・評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価
・教師や地域の人々等による他者評価

生徒の実態

- 探究的な学習に積極的に取り組む生徒たちである。
○自らの考えをまとめ、発信する力に秀でた生徒たちである。
○課題に対して丁寧に向き合い、全力で取り組む生徒たちである。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- 生徒とのコミュニケーションを密にし、生徒が主体的に探究課題に取り組むよう支援する。
○探究的な学習の成果が実感できるよう、生徒の特性に応じてきめ細やかな支援を行う。

目指す生徒の姿

- 高い知性、たくましい気力、礼節を重んじる人間性を備えた生徒
○ グローバルな視点と行動力を持った生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

【探究課題】

主体的なテーマ設定に基づく地域課題への貢献

【探究課題を通して育成を目指す資質・能力】

- ①課題を発見し、解決する力と地域に寄り添おうとする郷土愛
②地域社会や地域の人々と主体的に関わろうとする意欲や態度
③自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する能力

【探究的な学習における主な講座編成】

- 1 年生「ほこたを知ろう」
『ほこた散歩』（地域の商店へのインタビュー）
『ほこた探訪』（銚田の歴史や自然についての学習）
『ほこた講話Ⅰ』（銚田市役所職員の方による講話）
○ 2 年生「ほこた探究Ⅰ」
『ほこた探究Ⅰ』（地域探究を中心とした探究的な学習）
『ほこた講話Ⅱ』（銚田市役所職員の方による指導・助言）
『探究講話①②』（銚田市と連携しているカゴメとの交流）
○ 3 年生：ほこた探究Ⅱ
『ほこた探究Ⅱ』（地域探究を中心とした探究的な学習）
『探究成果発表会』（併設型附属中学校の連携事業）
『探究論文集』の作成

学習活動、指導方法等

- ICT 機器の活用
・インターネットによる課題の発見及び情報収集
・プレゼンテーションソフトでの発表
・Google Workspace 等を活用した情報の整理・管理
○地域との連携
・銚田市役所や銚田市商工会、ボランティア団体等との連携
・地域のイベント等でのボランティア活動
○実践的な活動の充実
・プロトタイプに基づく検証を充実させるための活動支援
・外部団体との連携に向けた仲介等の支援
○探究活動を軸とした教科横断的な指導
・各教科の特性に応じた探究的な取り組みの実践
○有識者による講演等
・探究的な学習での学びを活かしたキャリア選択の支援
・探究的な学習に対する興味関心の育成

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- 家庭における Chrome book の活用
○銚田市役所との連携
○銚田市のボランティア団体との連携
○商工会や企業との連携
○総合的な学習の時間主任を中心とし、担任 2 名と副担任及び学年主任での全教員による指導体制の確立